

## 探求課題 地域の防災 守ろうふるさと安浦 ～我ら安浦守り隊～

令和元年11月20日  
男子9名、女子18名  
計27名

本単元で育成する資質・能力

知識及び技能／思考力・判断力・表現力／学びに向かう力／感謝・貢献

### 1 単元について

#### 教材について

○平成30年の7月豪雨災害で、安浦町は甚大な被害を受けた。自分たちの命や町の人々の命を守るためにも、地域の一員として災害に負けない町をつくるために自分たちにできることを考え実行していくことは重要である。また、呉市には「呉市子どもまちづくり事業」があり、子どもたちが考えた町づくりのアイデアを大人と一体となって取り組むことで、地域の大人と子どもがつながり、将来のまちづくりの担い手となるような郷土愛・協働意識が育まれる。この事業を活用し、ふるさと安浦の課題を解決するために、自分でできることを考え、進んで取り組むことで、地域のために粘り強くやり抜くことができ、本校で育成を目指す資質・能力が育まれると考える。

#### 児童の実態

○本学級の児童は、探求課題である地域の防災について、早めの避難が大切であることや、川が決壊すると広い範囲が浸水することなどの基本的な知識や豪雨災害での経験がある。2学期の始めに行ったアンケートでは「災害が起こったときに自分はどのような行動をしたらよいか知っていますか。」という設問に対して92%が肯定的な回答をしている。また、「安浦が好きですか。」という設問に対しては94%の児童が肯定的な回答をした。安浦のためにできることをしたいと考える児童もいるが実際に地域に貢献している、と回答した児童は45%で、地域に対する愛着はあるが、地域のために行動を考え実際に行動に移すことは難しいと考える児童が多い。さらに、「自分で考えたことをまとめて表現することは得意ですか。」という設問に対しては肯定的な評価をした児童は30%にとどまっている。

### 単元構成の工夫とその特徴（パフォーマンス課題、カリキュラムマップとの関連等）

#### パフォーマンス課題

安浦に住んでいる人たちが安全に行動できるようにするために私たちが今までに調べたことをリーフレットにまとめて発信しよう。地域の方からたくさん要望のあった防災マップも載せるために、グループに分かれて調査してハザードマップを作りリーフレットに載せよう。

○「課題の設定」の過程において、1学期に目標に掲げた「油断禁物をみんなに広げる」ということについて振り返り、成果と課題を整理し、地域に広めることが未達成であること、また必要であることに気付かせることで、自分たちの活動を進めたい・地域を守るために活動したいという気持ちをもたせる。

#### 思考を深める指導のポイント

- 「まとめ・創造・表現」の過程ではグループを活用し、自分の考えを言葉で説明する場を設け、自分の考えをまとめる機会をもたせる中で、互いの説明を聞き、伝わりやすい説明の方法に気付かせる。また、「整理・分析」する際にも理由を問うようにし、地域の実態と関連付けることの重要性に気付かせる。
- 座標軸等の思考ツールと付箋やまなボードを活用し、思考の操作化や可視化をすることで思考を深めさせる。

### 2 単元の目標

○1学期に行った防災に向けた取組の成果と課題を明らかにし、昨年の西日本豪雨災害での安浦町の被害状況や避難状況をもとに、地域の防災意識を高め安全な避難できるようにリーフレット作りを通して、地域のためにできることを考え実行することができる。

### 3 単元の評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力	感謝・貢献
情報を比較し、課題と成果、利点と欠点などに分類して地域の実態と関連付けることができる。	設定した目的や地域の実態に応じて、効果的にリーフレットや防災マップに思考・判断し、表現することができる。	地域の方に「油断禁物」を広め、安全な行動が取れるようになってもらうという目標に向けて、粘り強くやり抜くことができる。	地域の方たちがいざというときに安全に行動できるように、自分にできることを考えて協働して進んで取り組むことができる。

#### 4 単元計画（全28時間）

次	時	探求の過程	学習内容	評価					
				知・技	思・判・表	学びに向かう力	感・貢	評価規準	評価方法
一	1	課題の設定 ふりかえり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1学期のふりかえりを行い，新たな課題を見つける。</li> <li>・安浦小学校の児童以外の人には発信できていない。</li> <li>・すべての情報は安浦小学校の児童にも発信することができていない。</li> </ul>				○	・1学期の振り返りから課題を見つけ，自分にできることを考え，進んで取り組むことができる。	ワークシート
	2	情報の収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報を広めるための方法を考え，その方法の利点・欠点を整理し，発信する方法を決める。</li> <li>・リーフレット</li> </ul>	○	○			・安浦に住んでいる人に自分たちの考えを知ってもらうために，方法や場所の利点・欠点を整理し，より効果的な方法を選ぶことができる。	ワークシート 発言
	3	整理・分析	○リーフレットを置く場所を，目的に応じて考える。						
	4 5 6 7	まとめ・創造・表現	○1学期に調べてきたことをリーフレットにまとめる。	○	○			・安浦に住んでいる人に「油断禁物」を広めることができるよう，工夫して表現することができる。	リーフレット
	8		○町作りセンターにリーフレットを置いてもらう準備をする。						
	9	情報の収集 実行	○町作りセンターにリーフレットとアンケートを置く。						
二	10	整理・分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アンケートを意見の種類ごとに分類する。</li> <li>○分類したアンケートから地域の方々の想いを読み取り，成果と課題を見つける。</li> <li>・防災マップがほしい</li> <li>・全家庭に配布してほしい</li> </ul>	○	○			・安浦に住んでいる人の防災に対する願いを，関係づけて整理分類することができる。	行動 ワークシート

12	まとめ・創造・表現	○全家庭に配布するため、呉市子ども町づくり事業で安浦の防災についてプレゼンテーションを行う。			○		・安浦に住んでいる人の願いを実現するために、実行したいことを整理し、相手に伝えることができる。	発言 行動
13	情報の収集	○プレゼンテーションでいただいた意見を参考にしながら防災マップを作るための情報を得る方法を考える。 ・地域の方から話を聞く ・実際に見に行く ・安浦のハザードマップを調べる	○	○			・安浦に住んでいる人が求めている防災マップを作るために必要な情報を集める方法を考え、目的に合わせて選択している。	発言 ワークシート
14 15		○地域の方と実際に町をまわりながら当日の様子について話をきく。				○	・災害の日に安浦町のために活動して下さった方がいることに気づき、地域の方に感謝の気持ちを持つことができる。	行動
16	整理・分析	○マップに載せる情報を絞るために、情報を整理・分析し、共通する内容を決める。(本時)			○		・安浦に住んでいる人の願いと自分たちの目標を踏まえて、情報を整理することができる。	ワークシート
17	整理・分析	○実際に地域の方々から得た情報を整理・分析し、マップに載せる内容を考える。	○	○			・安浦に住んでいる人が求めているマップにするための情報を選択することができる。	発言
18	表現	○より理解しやすいハザードマップになるように、情報の載せ方や配置を考える。		○	○		・安浦に住む人の行動につながるよう、理由づけて配置を考えることができる。	発言 ワークシート
19	情報の収集	○大まかなハザードマップを、町を一緒にまわった地域の方にみてもらい、アドバイスを聞く。			○		・よりよいものを作ろうと粘り強く取組、質問することができる。	発言 行動

	20 21 22 23	まとめ・創造・表現	○いただいた意見を元に、防災マップを作成する。	○			・意見を生かして再構成し、分かりやすく表現している。	防災マップ
	24	整理・分析	○ハザードマップを発信する方法を考え、利点・欠点を整理する。		○		・自分たちにできることを出し合い、安浦に住むたくさんの人に発信しようとする気持ちを持つことができる。	行動ワークシート
	25 26	実行	○ハザードマップを発信する。 ○ハザードマップを見た地域の方々の反応を知る。 ・アンケート ・インタビュー					
三	27 28	課題の振り返り設定	○アンケート・インタビューの結果を分析し自己の成長や学習課題を振り返る。 ○新たな課題につなげる。	○			・自分たちの取組の成果と課題に気づき、地域のためにさらに取組を広げたいという気持ちを持つことができる。	ワークシート

## 5 本時の学習（本時 16 / 28）

本時の目標 ○地域の方に教えていただいた安浦の被災状況や避難に関する情報を整理し、防災マップに載せる必要のある情報を選ぶことができる。

	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
課題の設定	1 前時までを振り返り、本時の見通しをもつ。 ・集めた情報確認する。  2 本時のめあてを確認する。	・前時に収集した情報をふせんにまとめさせておく。	
整理・分析	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">             集めた情報を分類し、共通して防災マップに載せる情報をしぼろう。           </div> 3 検討する内容を決める。 ・座標軸を紹介し、活動の方法を知る。  ・本時で特に育成を目指す資質・能力を決定する。	・自分たちの目的達成と安浦に住んでいる人の願いを実現するためであることを確認し、座標軸の軸を決める。  ・学習の流れの見通しをもたせてから、どの活動でどのような資質・能力を育てるか考えさせる。	・安浦に住む人の願いと自分たちの目的を踏まえて、情報を整理することができる。 (ワークシート, 発言)
	4 個人で考える。 ○カードを分類し、それぞれの必要・不要だと思う理由を考えましょう。  5 班で話し合う。	・1人1枚カードを分類し、理由を考えさせる。 ・なぜ防災マップに載せるべきであると判断したのか問いかけ整理・分析するには根拠が必要であることを気付かせる。  ・分類した理由を1人1人説明させる。また、説明を聞いて、疑問点などを挙げながら考えを練らせる。	

まとめ	<p>6 全体で交流し、意見をまとめる。</p> <p>○防災マップにのせるべきものを選びましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 危険な場所について</li> <li>・ 浸水場所について</li> <li>・ 当日の様子について</li> <li>・ 避難所について</li> <li>・ 避難経路について</li> <li>・</li> </ul> <p>8 振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ほかのグループと比較させ、共通点・相違点を見つけてさせる。分け方・根拠を聞き、自分たちの意見と比べさせる。</li> <li>・ 共通点を見つけやすくするために、カードに色を付けておく。</li> </ul> <p>・ 本時で意識していた資質・能力にそって振り返らせる。</p>	
-----	---	--	--

## 6 板書計画

防災マップ

④ 集めた情報を分類し、共通して防災マップに載せる情報をしぼろう。

思・判・表

〈守り隊の目的〉

安浦に住む人に「油断禁物」を広めて、安浦を守りたい。

↓

逃げ遅れないように

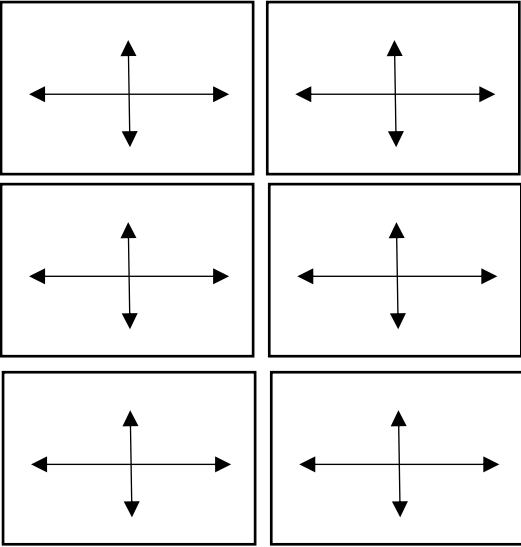
いざというとき、行動できるように

〈地域の方の願い〉

避難経路

避難所

危険な場所



⑤ マップに載せること

- ・ 避難経路
- ・ 避難所
- ・ 危険な場所
- ・ 浸水しやすい場所
- ・ 当日の様子

**市民センターが  
避難所。(浸水し  
なかった)**

**茶道は，山が近  
い。  
雨が降ると山が崩  
れて道が使えない  
可能性がある。**

**安浦町は新車  
が多い。**

**中畑川の八千代橋  
の流木がたまっ  
た。すると，一瞬  
で浸水が始まっ  
た。**

**横町商店街やその  
先の住宅が高い位  
置まで浸水した。**